

令和3年度 学校評価(教職員)結果・分析・考察

【まとめ】n=41/48		(A達成できた Bほぼ達成できた Cあまり達成できなかった D達成できなかった)												
重点目標		具体的方策				A	B	C	D	A	B	C	D	
1 教育目標	全職員が一致協力して教育目標の具現達成に努める	①学校教育目標、学部教育目標のもとに日頃の教育実践を展開している。	12	28	1	0	29.3%	68.3%	2.4%	0.0%				
2 教育計画	実態と学習指導要領等を踏まえた教育課程の編成	①幼児児童生徒の個性及び発達段階や特性等を考慮して教育課程を編成している。	9	26	6	0	22.0%	63.4%	14.6%	0.0%				
3 指導の充実	個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別移行支援計画の作成と指導実践	②新しい学習指導要領等を踏まえて教育課程を編成している。	15	23	3	0	36.6%	56.1%	7.3%	0.0%				
		①幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し年間指導計画(シラバス)を作成している。	15	25	1	0	36.6%	61.0%	2.4%	0.0%				
		②保護者と連携し、願いを反映した個別の教育支援計画、個別の指導計画、移行支援計画を作成し、活用している。	22	19	0	0	53.7%	46.3%	0.0%	0.0%				
		③職員相互の共通理解がなされた指導体制を整えている。	14	24	3	0	34.1%	58.5%	7.3%	0.0%				
		④特性による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服することを目標に、教育的ニーズに対応した自立活動の指導を行っている。	11	30	0	0	26.8%	73.2%	0.0%	0.0%				
		⑤興味関心を高め意欲的に参加できるよう題材や教材を工夫し、指導を行っている。	15	26	0	0	36.6%	63.4%	0.0%	0.0%				
		⑥一人一人の実態を把握するとともに、個別の目標を設定し、充実した教科指導を行っている。	10	31	0	0	24.4%	75.6%	0.0%	0.0%				
		⑦個別の指導目標にそって適切な評価をしている。	16	25	0	0	39.0%	61.0%	0.0%	0.0%				
		⑧情報機器を活用した指導を行っている。	14	24	2	1	34.1%	58.5%	4.9%	2.4%				
		⑨教材・教具備品が適切に整理され、活用されている。	5	32	4	0	12.2%	78.0%	9.8%	0.0%				
4 総合的な学習・探求	学校・地域の特色を生かし総合的な学習・探求の充実を図る	①児童生徒の実態にあった目標、指導内容になっている。	14	25	1	0	34.1%	61.0%	2.4%	0.0%				
		②学校・地域の特性を生かすと同時に、児童生徒が自らの課題を解決できるように工夫し教育実践を行っている。	11	27	2	0	26.8%	65.9%	4.9%	0.0%				
5 特別活動	集団活動を通して社会性を養い望ましい人間関係を育てる	①幼児児童生徒会(あおぞら会)活動が幼児児童生徒の実態に即しており、充実している。	9	28	4	0	22.0%	68.3%	9.8%	0.0%				
		②各行事のねらいが効率的・効果的に達成されるよう、活動内容の共通理解が図られ、実施されている。	12	27	2	0	29.3%	65.9%	4.9%	0.0%				
6 生徒指導	発達段階や特性に応じて基本的生活習慣を身につけてせると共に好ましい人間関係を確立する	①幼児児童生徒の実態に合った目標を設定し、指導を実践している。	15	26	0	0	36.6%	63.4%	0.0%	0.0%				
		②家庭や関係機関と連携して、幼児児童生徒の指導を実践している。	19	21	1	0	46.3%	51.2%	2.4%	0.0%				
		③幼児児童生徒が明るくあいさつし、人間関係が良好である。	12	28	1	0	29.3%	68.3%	2.4%	0.0%				
7 健康安全指導	健康安全に対する対策を徹底し、安心して教育活動ができる教育環境の整備	①幼児児童生徒の健康観察及び記録を確實に行っている。	26	15	0	0	63.4%	36.6%	0.0%	0.0%				
		②養護教諭と連携し、幼児児童生徒の健康管理と安全指導を行っている。	28	12	1	0	68.3%	29.3%	2.4%	0.0%				
		③幼児児童生徒の安全を守るために各訓練(不審者、避難訓練等)を適切に行っている。	26	15	0	0	63.4%	36.6%	0.0%	0.0%				

8 進路指導	生活経験の拡大と自立した社会生活への対応	①個別の教育支援計画に将来の希望が反映されている。	15	22	3	0	36.6%	53.7%	7.3%	0.0%	
9 キャリア教育		②卒業後の進路に興味・関心を持ち、見通しを持たせるための進路相談や企業・施設見学会が適切に実施されている。	2	27	11	0	4.9%	65.9%	26.3%	0.0%	
		③進路指導に関する情報(進路の手引き、進路だより等)を提供し、情報共有している。	4	29	7	0	9.8%	70.7%	17.1%	0.0%	
10 社会に開かれた教育課程	地域と連携し、地域の資源を活用し開かれた学校教育の展開	①学校や児童生徒の実態を踏まえたキャリア教育全体構想図やキャリアプランニング・マトリックスを活かし「キャリア教育」の視点を取り入れ授業を進めている。	3	30	8	0	7.3%	73.2%	19.5%	0.0%	
		②キャリア教育に関する研修が適切に行われ、全職員が共通理解している。	2	25	14	0	4.9%	61.0%	34.1%	0.0%	
		③体験的なキャリア教育(買い物学習、販売学習、職場見学、就業体験、職業実習等)を実践している。	13	20	8	0	31.7%	48.8%	19.5%	0.0%	
11 研究研修	実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	①学校(居住地校を含む)や地域と連携し、計画的に交流及び共同学習や地域との交流活動を実践している。	13	22	4	0	31.7%	53.7%	9.8%	0.0%	
		②学校はインクルーシブな八重山を目標に、社会に開かれた教育課程・教育活動を展開している。	12	25	4	0	29.3%	61.0%	9.8%	0.0%	
12 環境美化	施設設備の管理と潤いのある環境整備	①計画的な環境美化活動に取り組んでいる。	12	26	3	0	29.3%	63.4%	7.3%	0.0%	
		②緑化事業計画にそった環境整備を推進している。	11	27	3	0	26.8%	65.9%	7.3%	0.0%	
13 家庭関係機関との連携	保護者、寄宿舎、専門機関、関係機関と連携した教育実践	①家庭との連携(子どもの様子に係る情報交換、個別の教育支援計画、個別の指導計画の共通理解等)が図られている。	23	18	0	0	56.1%	43.9%	0.0%	0.0%	
		②関係機関との連携(ケース会議、情報交換等)が図られている。	17	24	0	0	41.5%	58.5%	0.0%	0.0%	
14 職員連携	職員相互の連携を図り、健全な職場環境の構築	①報・連・相を大切にし、全教職員が連携して教育活動を推進している。	12	27	2	0	29.3%	65.9%	4.9%	0.0%	
		②危機管理において全職員が連携しさ(最悪を考え)し(慎重に)す(速やかに)せ(誠意をもって)そ(組織的に)対応している。	12	28	1	0	29.3%	68.3%	2.4%	0.0%	
15 いじめ・人権	生徒の人権侵害防止の取り組み	①日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に努めている。	18	23	0	0	43.9%	56.1%	0.0%	0.0%	
		②生徒の人権意識の育成を図るための取り組みを行っている。	13	27	0	0	31.7%	65.9%	0.0%	0.0%	
16 その他		①知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養を意識し指導実践を行っている。(求められる資質能力)	8	31	1	0	19.5%	75.6%	2.4%	0.0%	
		②教科横断・学部縦断的な視点で指導内容を組み立て指導を行っている。(カリキュラムマネジメント)	7	25	8	0	17.1%	61.0%	19.5%	0.0%	

【結果・考 察】

本校職員による評価については、42問中40問が「A達成できた」「Bほぼ達成できた」が8割以上の高評価であった。「Cあまり達成できなかった」「D達成できなかった」約2割以上あったのは2項目であった。「3指導の充実」の結果からは、児童生徒一人一人に真摯に向き合い、個別の支援計画、指導計画を作成し、教材教具、授業の工夫を行いながら日々の授業に取り組んでいる事がうかがえる。また、保護者や寄宿舎、他機関との連携を図り、児童生徒の諸課題に取り組んでいる。しかし、職員相互の共通理解された指導体制に課題を感じている職員もいるため、学部共通理解を図るための指導体制の検討していきたい。

低評価の項目について（『Cあまり達成できなかった』『D達成できなかった』が20%以上）

8進路指導②の「卒業の進路に興味関心を持ち、見通しを持たせるための進路相談や企業施設見学会が適切に実施されている。」⇒新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言等の期間が長期化し、予定していた企業向けの説明会や高等部1・2年生の就業体験、中学部の職場見学等が中止となり、大幅な変更をせざるを得なかったためと考える。「学校の新しい生活様式」に沿った実施を行いながら、コロナ禍における進路相談・企業施設見学会の工夫・改善を行っていきたい。

9のキャリア教育の3項目は、「Cあまり達成できなかった」、「D達成できなかった」を合わせて20%前後と、ともに低い傾向にあった。これも上記と同様に就業体験等の中止が影響していると考えられる。コロナ禍でのキャリア教育についてできることを工夫してキャリア教育推進委員会で検討していきたい。

令和3年度 学校評価(寄宿舎)結果・分析・考察

寄宿舎指導員12名 回答率100%

A達成できた Bほぼ達成できた Cあまり達成できなかった D達成できなかった

重点目標		具体的方策	A	B	C	D	A	B	C	D
指導目標	1 寄宿舎運営の指導目標の設定意義と手順	職員全員が指導目標を理解し、達成に向けて相互の協力体制を図っている。	10	2	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	2 家庭・学級担任等との連携	指導目標達成のため、家庭・学級担任・関係部署・関係機関と連携するよう努力している。	10	2	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
舍生の指導	3 基本的生活習慣を育む指導	舍生の実態に即した基本的生活習慣を身につけることができる日課が設定されている。	11	1	0	0	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%
	4 年間行事計画の設定	舍生の自主性、社会性を育む行事が年間を通して適切に設定されている。	10	2	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	5 個別の生活指導計画の設定	舍生の発達段階に応じた課題を捉え、個々の生活目標に沿った指導を行っている。	10	2	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	6 いじめ防止	日頃より、いじめの実態把握に努め、児童生徒が発する危険信号を見逃さないようにしていじめの早期発見に努めている。	11	0	0	0	91.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	7 人権意識の育成	生徒の人権意識の育成を図るような取り組みを行っている。	8	4	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
舍生の活動	8 自治活動の充実	各係の活動・日直活動などが適切に設定され、主体的に舍生が取り組んでいる。	9	3	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	9 余暇活動の充実	舍生の実態に合わせて活動内容が設定されている。	11	1	0	0	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%
保健安全舍食	10 舎生の健康管理	日常生活において常に健康、安全に心掛ける習慣や行動ができるように指導している。	12	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	11 緊急時の対応	緊急時(舍生の病気、事故、不審者対策)の体制は整備されている。	12	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	12 災害時の対応	災害時(火災、地震、津波)の体制は整備されている。	12	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	13 舎食の充実	委託業者と連携を取り、適切な舍食が実施されている。	12	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	14 安全点検の徹底	舍内外の危険箇所の発見に努め、安全な環境作りを進めている。	10	2	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
学部連携	15 寮務主任との連携	寮務主任との連携を密にし、学校と寄宿舎の連携が取れている。	12	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16 舎監との連携	舎監と連携し、舍生の日頃の指導体制を確立することができている。	10	2	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
職員連携	17	報・連・相を大切にし、全教職員が連携して教育活動を推進している。	11	1	0	0	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%
	18 職員相互の連携、健全な職場環境の構築	教材・教具や備品が適切に管理され、活用されている。	5	7	0	0	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%
	19	危機管理において全職員が連携し、さ(最悪を考え)し(慎重に)す(速やかに)せ(誠意をもって)そ(組織的に)対応している。	8	4	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
研究研修	20 実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	資質向上に繋がる研修等を計画し積極的に取り組んでいる。	5	5	2	0	41.7%	41.7%	16.7%	0.0%

令和3年度学校評価 自己評価【養護・栄養・司書】結果・分析・評価 n = 3 / 3

(A達成できた Bほぼ達成できた Cあまり達成できなかった D達成できなかつた)													
重点目標		具体的方策				A	B	C	D	A	B	C	D
1 教育目標	全職員が一致協力して教育目標の具現達成に努める	①教育目標を生かし日頃の教育実践を展開している。	2	1	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%			
2 指導の充実	年間指導計画の作成と指導実践	①幼児児童生徒の教育的ニーズを把握し年間指導計画(シラバス)	2	1	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%			
		②職員相互の共通理解がなされた指導体制を整えている。	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%			
		③教材・教具備品等が適切に整理され、活用されている。	2	1	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%			
3 生徒指導	発達段階や特性に応じて基本的生活習慣を身につけさせると共に好ましい人間関係を確立する	①幼児児童生徒の実態に合った目標を設定し、指導を実践する。	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%			
		②家庭や関係機関と連携して、幼児児童生徒の指導を実践している。	0	3	0	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
		③幼児児童生徒が明るくあいさつし、人間関係が良好である。	3	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
4 健康安全指導	健康安全に対する対策を徹底し、安心して教育活動ができる教育環境の整備	①全職員と連携し、幼児児童生徒の健康管理と安全指導を行っている。	3	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		②幼児児童生徒の安全を守るために各訓練(不審者、避難訓練等)を適切に行っている。	3	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
5 研究研修	実態にあった指導方法の研究及び職員の研修体制の確立	①資質向上に繋がる研修等に積極的に取り組んでいる。	2	1	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%			
		②互いの授業を共有し、主体的・対話的で深い学びの視点で授業	0	3	0	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
6 環境美化	施設設備の管理と潤いのある環境整備	①計画的な環境美化活動に取り組んでいる。	2	1	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%			
7 家庭関係機関との連携	保護者、寄宿舎、専門機関、関係機関と連携した教育実践	①家庭との連携(子どもの様子に係る情報交換、個別の教育支援計画、個別の指導計画の共通理解等)が図られている。	0	3	0	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%			
		②関係機関との連携(ケース会議、情報交換等)が図られている。	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%			
8 職員連携	職員相互の連携を図り、健全な職場環境の構築	①報・連・相を大切にし、全教職員が連携して教育活動を推進している。	2	1	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%			
		②危機管理において全職員が連携しさ(最悪を考え)し(慎重に)す(速やかに)せ(誠意をもって)そ(組織的に)対応している。	2	1	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%			
15 その他		①知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養を意識し授業実践を行っている。(求められる資質能力)	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%			
		②教科横断・学部横断的な視点で学習内容を組み立て指導を行っている。(カリキュラムマネジメント)	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%			

【考 察】

全ての項目が高評価である。健康安全指導や職員相互の連携を行いながら職務を遂行していることがうかがえる。

令和3年度 学校評価(保護者用)結果・分析・考察

保護者61名中36名回答(回答率約59%)

A:そう思う B:ほぼそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

【 全体 】

	評価項目	A	B	C	D
1	学校は幼児児童生徒一人一人の特性や発達段階に応じた教育を行って	27	7	1	0
2	学校は保育授業参観や学校行事、ホームページ等を通して学校の教育活動内容の発信に努めている。	20	14	1	1
3	学校は保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なうよう努力している。	27	9	0	0
4	保護者の意見は学校(学級)経営や教育活動に活かされている。	22	10	3	0
5	学校の教育設備、備品はよく揃っている。	25	7	0	1
6	学校は幼児児童生徒各自の自立を目指した指導を行っている。	27	9	0	0
7	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	32	3	1	0
8	学校は保護者と連携して幼児児童生徒を指導している。	27	9	0	0
9	担任は幼児児童生徒の実態をよく理解している。	25	11	0	0
10	個別の教育支援計画を活用し、きめ細かな支援をしている。	21	13	1	0
11	幼児児童生徒の学習成果を適切に評価し、伝えている。	24	8	3	0
12	学校は将来の進路について適切な指導を行っている。	18	12	4	0
13	学校は幼児児童生徒や保護者の相談等に適切に対応している。	22	11	2	0
14	学校は生命や人権を尊重する意識を育てている。	28	4	1	0
15	学校はいじめや不登校の防止・対応をしている。	24	4	1	1

令和3年度 学校評価(入舎生保護者)結果・分析・考察

入舎保護者16名中10名が回答(回答率62%)

A:そう思う B:ほぼそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない

	評価項目	A	B	C	D
1	寄宿舎では、子どもの基本的生活習慣の確立や個々の自立に向けて適切な指導が行われている。	10	0	0	0
2	寄宿舎は、寄宿舎参観や寄宿舎通信、ホームページなどで寄宿舎の情報を発信することに努めている。	9	0	1	0
3	寄宿舎は、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行うよう努力している。	10	0	0	0
4	係、日直活動(など)が適切に設定され、舎生が主体的に取り組んでいる。	10	0	0	0
5	舎生は、舎生活を楽しんでいる。	9	1	0	0
6	係、日直活動(など)が適切に設定され、舎生が主体的に取り組んでいる。	9	0	0	0
7	舎生は、生き生きと舎生活を送っている。	9	1	0	0
8	寄宿舎の職員は、舎生の実態をよく理解し、(親身になって接し)ている。	10	0	0	0
9	災害時の舎生の安全の確保が、図られている。	9	0	1	0
10	寄宿舎の職員は、舎生や保護者の相談等に、適切に対応している。	9	1	0	0
11	保護者と寄宿舎の職員は、協力関係がよくとれている。	7	3	0	0

令和3年度 学校評価(学校評議員アンケート)

この調査は学校の経営・運営及び教育活動をより充実したものにするための資料とするものです。それぞれの項目についてA~Dのうち、あてはまる欄に○印をつけて下さい。分からぬことについては解答しなくともかまいません。

A: そう思う B: ほぼそう思う C:あまりそう思わない D: そう思わない

【 幼 小 】

	評価項目	A	B	C	D
1	本校の教育目標□学校は教育方針をわかりやすく伝えている。	2	0	0	0
2	本校の教育実践□学校は教育課題について適切に取り組んでいる。□	2	0	0	0
3	本校の健康・安全□学校は健康・安全教育に取り組んでいる。□	2	0	0	0
4	本校の環境美化□学校は校舎内外の環境美化に努めている。□	2	0	0	0
5	本校の進路指導□学校は適切な進路指導に取り組んでいる。□	0	1	0	0
6	本校の地域との連携 ・学校は地域と連携し、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。	0	1	0	0

※学校へ要望事項及び意見・改善策等を記入して下さい。(裏面もご利用になれます)

・コロナ禍の中ではありますが、地域との関わりが少し弱い気がします。地域住民は支援学校に対しては地元の学校として積極的に応援、協力を惜しまない気持ちでいますが、どのように接していくか分からぬところもあるかと思います。 学校、公民館を中心に頑張っていければと考えます。

・キャリア教育や進路指導についてハローワークとしても協力できるところはないか所内で検討し、セミナーを行うことについても検討しております。いつでもご相談ください。

令和3年度八重山特支学校評価のまとめ

1 評価結果の考察

高評価 …自己評価において「A達成できた」「Bほぼ達成できた」が8割以上

低評価 …自己評価において「Cあまり達成できなかった」「D達成できなかった」が2割以上

(1)自己評価(本校職員による評価)

① 各学部用 アンケート数 n=41/48

高評価の項目数 40/42

- 「3指導の充実」の結果からは、幼児児童生徒一人一人に真摯に向き合い、個別の支援計画、指導計画を作成し、教材教具、授業の工夫を行いながら日々の授業に取り組んでいる事がうかがえる。また、保護者や寄宿舎、他機関との連携を図り、児童生徒の諸課題に取り組んでいる。

低評価の項目数 2/42

- 8進路指導:②卒業後の進路に興味・関心を持ち、見通しを持たせるための進路相談や企業、施設見学会が適切に実施されている。
⇒ 新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言の長期化の影響により、予定していた企業向けの説明会や高等部1、2年生の就業体験、中学部の職場見学等が相次いで中止となり、大幅に予定を変更せざるを得なかつたためと考える。次年度は感染状況次第ではあるが、企業説明会や就業体験など進路指導の充実を図っていきたい。
- 9キャリア教育:②キャリア教育に関する研修が適切に行われ、全職員が共通理解している。
⇒ 新型コロナウイルス感染症の学校教育全体への大幅な変更が影響していると考える。コロナ禍でのキャリア教育についてできることを工夫し、キャリア教育推進委員会で検討していきたい。

②寄宿舎用 n=12/12

低評価なし

- ほとんどが高評価である。個別の生活指導計画を活用し、舎生の特性に合わせ、卒業後の生活を見据えた支援・指導を行っている。いじめ防止、人権意識の育成についても学部と連携をとりながら、舎生に合わせて指導を行っている。また、指導員一人一人が資質向上の意識が高く、舎内で支援方法についての話し合いが活発で、自己研鑽のための各種研修の受講も多い。

③養護・栄養・司書用 n=3/3

質問項目18問中、18問が高評価。

- 全ての項目が高評価である。健康安全指導や職員相互の連携を行いながら職務を遂行していることがうかがえる。

(2)児童生徒アンケート n=36/62(小5名、中12名、高19名)

高評価 …自己評価において「Aそう思う」「Bほぼそう思う」が8割以上

- 質問項目16問中、16問において高評価。昨年に比べ「A そう思う」「B ほぼそう思う」の回答が増えている。今年度もコロナ禍で様々な活動が制限されたが、できる活動を工夫し、楽しく充実した授業が展開されていると考えている。また、教師への好意的な評価も多く、よい関係性が構築されていると推察される。

低評価 …自己評価において「Cあまりそう思わない」「Dそう思わない」が 2 割以上

- 低評価なし。ネガティブな回答をしている生徒も若干名見られる。いじめに関しては、年に 2 回、進路指導部からいじめに関するアンケートを実施している。いじめアンケートでは特に問題は見られなかったが、今回の回答では、過去の体験や、苦手な生徒への思いなどが表れているようであった。生徒間でうまく付き合えない関係やトラブルになりがちな関係がある場合には、個別に担任、学部で対応しており、

スクールカウンセラーとの面談等での対応を行っている。また、担任が生徒間の関係をよく把握しており、個別的な対応を学年、学部との情報共有を図って丁寧に対応している。いじめ防止対策委員会を今後実施予定。

(3)保護者アンケート n=36/61

高評価 …自己評価において「Aそう思う」「Bほぼそう思う」が8割以上

- 質問項目15問中、15問において高評価であった。特に7の「子どもたちは、楽しく学校に通っている」が9割近くの評価を得ており、教師と児童生徒、または友人関係が良好なことがうかがえる。

低評価 …自己評価において「Cあまりそう思わない」「Dそう思わない」が2割以上

- 低評価なし。しかしながら、蔓延防止や緊急事態宣言の長期化で、直接授業参観や学校行事、就業体験、修学旅行、校外学習等の機会が制限された影響から、いくつかの項目で低い評価が散見された。2の学校による教育内容の発信では、授業参観や八特祭、修学旅行の様子をオンラインやオンデマンドで視聴できるように試みてきたが、今後も直接学習の様子を参観していただくことを基本としつつ、学校ホームページやオンデマンド配信等の活用した情報発信の工夫をしていきたい。

項目10～15のいくつかの低評価に関しては、保護者への情報提供や課題の共有など連携を深める必要があると考える。人権やいじめに関しては、今後も学校ホームページに掲載しているいじめ防止基本方針に従い、年に2回のいじめアンケートや日々の児童生徒の様子を注意深く捉え、配慮が必要な事案に対して関係部署と連携し、いじめ防止に取り組んでいきたい。

(4)寄宿舎保護者アンケート n=10/16

高評価 …自己評価において「Aそう思う」「Bほぼそう思う」が8割以上

- 質問項目すべてにおいて高評価であった。寄宿舎職員による生徒への生活指導、余暇指導が保護者への信頼と高評価につながっていると思われる。今後も生徒

に寄り添い、楽しい寄宿舎生活が送れるように取り組んでいきたい。

低評価 …自己評価において「Cあまりそう思わない」「Dそう思わない」が2割以上
⇒低評価なし。

(5)学校関係者アンケート n=2/5

○ 全て高評価をつけていただいた。意見としては、地域との関わりの薄さの指摘を受けた。地域として積極的に応援していただける意思を示されており、コロナ禍ではあるが、地域への情報発信、交流等の取り組みを検討していきたい。